

■演劇コンクール・稽古場アンケート！ 【ムニ】

第11回せんがわ劇場演劇コンクール出場団体の稽古場情報を配信！
全5団体、順不同でお届けします。

今回は、【作・演出】の【宮崎玲奈】さんにお話を伺いました。



●「劇団の成り立ち」を教えてください。

【宮崎】大学に入って演劇を初めて、明治大学の実験劇場という演劇サークルでその頃はアングラっぽい芝居をしていました。人と作品を作るということに疲れちゃって自分には演劇とか劇団とかは無理だと辞めてしまって、大学3年生の頃に無隣館という青年団の研修組織に入るんですけど、自分の手の届く範囲からやり直してみようと始めたのが「ムニ」です。大学の近くにあった喫茶店があって、カップとか、かかっているクラシックとか、場に対しての手の行き届き方みたいなことにハッとしたことがきっかけでした。

●活動について聞かせてください。

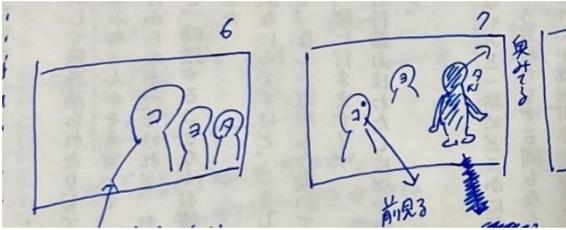
【宮崎】ムニ旗上げの作品は「場」を考えることに重きを置いて、稽古場だったり、会場の場づくりのことを意識して俳優へのインタビューから作品を作っていました。その時は「物語を書く」ということの意味みたいなのがよくわからなくて、どうして物語を書かないといけないんだろうと思っていました。物語は信じられないけれどわからないから書くんだという人の言葉をきっかけに、大学卒業制作のタイミングで日常の言葉で戯曲を書いてみようと思って、戯曲を書いて友達に声を掛けて上演を行いました。ムニでの上演はまだ旗上げ公演含めて2回。演出家を育てるということで、青年団内のシステムのひとつに若手自主企画というのがあって、その時は「宮崎企画」を名乗っています。ムニ・宮崎企画合わせると、今回の作品が7作品目になります。

●コンクール参加の動機は？

【宮崎】コンクールに出るのは初めてです。この人に観てほしい！と思う人が審査員にいるコンクールに出たいと常々思っていて今回その条件に該当したので参加したいと思ったという感じです。

●今回は、どんな作品でしょうか？

【宮崎】劇場という場所がはじめてで未知なので、今のところ舞台上にはなにもない予定で、「観察」をテーマにしながら作っています。劇場の引力を信じて、想像する力が強く働くような作品にできたらと思っています。部屋で一人でいる時と、外でいる時の違いみたいな、



見られている時と見られていない時の差みたいなことに興味を持っています。

●今後の展望は？

【宮崎】個人で言えば、自分の戯曲の文体を手に入れたいです。スタイル（形式）は作品によって変化していくことができると思うのですが、セリフやト書き（特に今はト書き）を安定させたいです。でもやっぱり一番は、今一番一緒に創作してみたい人と作品を発表しつづけられたらなと思います。

【担当コメント】

「場」への意識を強く持ち、ひとつひとつ丁寧に積み上げて作品化していく様子がかげえるムニ。せんがわ劇場という「場」をどのように扱うのか、どのような付き合い方をするのか、期待が高まります！

【ムニ：5月29日（土）】 担当：櫻井拓見

※「宮崎」の「崎」は立つ崎（たつさき）が正式表記です。